



はーと なび



一般社団法人 全国腎臓病協議会 通院介護委員会

〒170-0021 東京都文京区本駒込 2-29-24 パシフィックスクエア千石 802

2017 年 5 月 11 日発行

TEL:03(5395)2631 FAX:03(5395)2831 E-mail:sougei@zjk.or.jp

全腎協 2017 年度の通院介護支援事業（事業計画）

送迎団体対象の研修交流会を計画 通院実態調査は継続

年度が改まり、全腎協 2017 年度事業計画が確定しました。今回はこの事業計画より、通院介護委員会が本年度予定している主な取り組みについてご紹介いたします。

（１）離島・過疎地通院実態調査の実施

昨年度四国で実施した離島・過疎地を対象とする通院実態調査では、高齢で運転に不安を抱えながらも自家用車通院をせざるを得ない患者や、通院つきそいのため仕事等を犠牲にせざるをえない患者家族の実態が明らかになりました。通院介護委員会では、本年度も同様の調査を他の地域で行う予定です。継続的に調査を行うことは、全国共通の課題と地域特有の課題を整理するためにも大変有効的です。なお、調査終了後には調査結果をもとにした研修会を開催します。

（２）通院介護研修会・通院送迎事業所研修交流会の開催

本年度は 2 年ごとに定期開催している「通院介護研修会」の開催年にあたります。本年も「通院介護研修会」を 11 月の 4 日～5 日の二日間にわたり東京都内（会場：大森東急 R E I ホテル）にて開催します。なお、こちらの研修会の受講対象者は都道府県加盟組織のみとなり、該当する加盟組織には追って詳細などご案内差し上げます。

また、新たな取り組みとして、活動中の通

院送迎事業所を対象とした「通院送迎事業所研修交流会」を開催します。こちらは通院介護支援事業として全腎協が支援する全国の通院送迎事業所を対象に企画が進められています。なお、「通院送迎事業所研修交流会」の開催日時・会場等は現在調整中ですので、詳細は決定次第追ってお知らせいたします。

従来、通院送迎に関する研修は「通院介護研修会」に集約して行われてきましたが、本年は対象者を分けることで、より各対象者の課題に即した研修ができるものと期待されます。

本年は、平成 29 年度介護保険制度改定をはじめ社会保障全般の動向をみすえた活動が必要になります。このほかにも、通院困難者（中重度要介護者）の施設入所・入居対策および施設の見学、在宅透析やサービス付き高齢者向け受託等での透析システムの検討など、通院介護委員会は患者が安心して透析治療を続けるための通院支援・在宅介護について幅広い視点から取り組みます。また、「はーと・なび」を中心とする情報発信も一層強化したいと考えています。

あわせて通院介護委員会では、各地の腎友会が行う通院調査の支援などの各種相談にも随時応じています。通院についての情報提供やご相談があれば、お気軽に通院介護委員会までお問い合わせ下さい。

《トピックス》

国交省「タクシー相乗り」実証実験 本年度中に複数都市部で実施の方針

国土交通省は、同じ方向の客同士が1台のタクシーと一緒に乗るいわゆる「相乗り」の実証実験を今年度中に行う方針を明らかにしました。

タクシーの「相乗り」はすでにいくつかの地域で行われていますが、それらはデマンド型交通の一環として行われており、多くの場合、利用者が一部地域の住民に限られており、事前予約をもとに同乗者を決める仕組みのため、おおむね前日までに電話等での予約が必要となっています。これに対し、これから行われる実証実験は、専用のスマートフォンのアプリを用いるという点で従来の「相乗り」と大きく異なります。

アプリは新たに開発されたもので、予約はアプリを通じて行い、このアプリが同乗者を決める仕組みとなっています。アプリを使える人であれば誰もが利用者となることができ、同乗者の組み合わせを機械が随時行うため、予約から利用までの時間を大幅に短縮することができるという点が従来の「相乗り」と異なります。このアプリを用いた「相乗り」は、1人当たりのタクシー料金が安くなるという従来の「相乗り」の利点のほかに、誰でもすぐに利用できるというメリットがあります。一方で、見ず知らずの人に行先（自宅など）を知られてしまうなどのデメリットも考えられます。

国土交通省は実証実験を今年度中に都市部で行うとしています。実証実験では、利用者の意識調査なども行われる予定とのことです。

H28 低燃費乗用車 軽1位アルトと キャロル 普通・小型1位はプリウス

国土交通省は例年、燃費性能の優れた乗用車をランキング形式で発表しています。3月末に最新のベスト10が発表になりました。平成28年に販売された乗用車のうち最も燃費の良いものは、軽自動車部門ではスズキ株式会社のアルトとマツダ株式会社のキャロル、普通・小型部門ではトヨタ自動車株式会社のプリウスでした。

軽自動車部門ベスト10

- 1位：スズキ「アルト」37.0km/L
- 1位：マツダ「キャロル」37.0km/L
- 3位：スズキ「アルト ラパン」35.6km/L
- 4位：スバル「プレオ プラス」35.2km/L
- 4位：ダイハツ「ミラ イース」35.2km/L
- 4位：トヨタ「ピクシス エポック」35.2km/L
- 7位：スズキ「ワゴンR」33.0km/L
- 7位：マツダ「フレア」33.0km/L
- 9位：スズキ「スペーシア」32.0km/L
- 9位：スズキ「ハスラー」32.0km/L
- 9位：マツダ「フレア ワゴン」32.0km/L
- 9位：マツダ「フレア クロスオーバー」32.0km/L

普通・小型部門ベスト10

- 1位：トヨタ「プリウス」40.8km/L
- 2位：トヨタ「アクア」37.0km/L
- 3位：ホンダ「フィット」36.4km/L
- 4位：ホンダ「グレイス」34.4km/L
- 5位：ホンダ「シャトル」34.0km/L
- 6位：トヨタ「カローラ アクシオ」33.8km/L
- 6位：トヨタ「カローラ フィールダー」33.8km/L
- 8位：マツダ「アクセラ」30.8km/L
- 9位：レクサス「CT200h」30.4km/L
- 10位：ホンダ「アコード ハイブリッド」30.0km/L
- 10位：マツダ「デミオ」30.0km/L

《事務局より》

■「はーと・なび」No.104 訂正とお詫び

前号の「はーと・なび」記事中の一部文字に誤りがありました。以下のとおり訂正いたします。大変申し訳ございませんでした。

正誤表

箇所	誤	正
P2 第3段落	例えば国田地区から約7km…	例えば国田地区から約7km…
P2 表「指定発着地と利用料金」	市内のJR駅・バス営業所など交通結節権	市内のJR駅・バス営業所など交通結節点

■2016年度活動状況報告書について

いつも通院介護支援事業「活動状況報告書」をご送付いただきありがとうございます。

全腎協では昨年度お送りいただいた「活動状況報告書」をもとに2016年度の活動実績集計を行いました。集計結果は、本年の全腎協全国大会(福井県にて5月21日開催)にて配布する大会資料集に掲載いたします。

今後とも「活動状況報告書」のご提出にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

■全腎協 講師派遣制度をご活用下さい！

全腎協では腎友会・送迎事業所の立ち上げを検討している方を対象に、勉強会、講演会への講師派遣を行っております。希望開催日の2ヶ月前までに、“通院送迎の講師派遣希望”として、全腎協事務局・送迎担当までお電話下さい。その際、テーマと講師についてご希望をお聞かせ下さい。

【テーマ】

- 全腎協通院介護支援事業の歴史

- 福祉有償運送とは
- 送迎事業所の開設ノウハウ
- 介護保険と通院送迎
- デマンド型交通導入のノウハウ
～地域ぐるみの送迎システム構築について～
- 富山型デイサービスとは ほか

【講師】

馬場 享 通院介護委員(全腎協会長)
秋山 祐一 通院介護委員長(全腎協専務理事)
金子 智 通院介護委員(全腎協常務理事)
池田 充 通院介護委員

ほか

【お申し込み方法】

希望開催日の2ヶ月前までに、“通院送迎の講師派遣希望”として、全腎協事務局・送迎担当までお電話下さい。その際、テーマと講師についてご希望をお聞かせ下さい。

TEL : 03-5395-2631

その他、本件に関するお問い合わせ等も、上記までお願いいたします。皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

